第１２回エルゴナジー研究会

報告集

2006年　5月２０日

於　青山学院大学

研究会プログラム

村上　智広	「セミナー開発・実施・評価レベルの向上に関する取り組み」 ー高度ポリテクセンター所内全面取り組み結果報告ー	1
松谷由紀子	「神奈川県の団塊世代支援対策」 （資料は、事業内容が固まってからご紹介します。）	

第10回　平成18年5月20日（土）エルゴナジー研究会

「セミナー開発・実施・評価レベルの向上に関する取り組み」

― 高度ポリテクセンター所内全面取り組み結果報告 ―

高度ポリテクセンター　　村上智広

はじめに

昨年５月報告の締めくくり

能力開発セミナーコース設定の **的確性向上** 取り組み**その心は**

「職員　全員の意志」で

「職業訓練向上の好循環サイクル」

に「乗り込み」

高度ポリテクセンターは

日本「最強」の「職業訓練」プロ集団を目指す

その後の、取り組み結果を報告いたします。

1.　職業訓練運営プロセスの主要ステージ

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

① 訓練ニーズの特定 Identification
（要請又は仮説に沿ったニーズ特定）

⇩

② 訓練企画 Planning
（企画書,等）

⇩

③ 訓練開発 Development
（ｶﾘｷｭﾗﾑ、教材、広報資料、等）

⇩

④ 訓練実施 Conducting
（訓練、納得度・修得度ﾁｪｯｸ、等）

⇩

⑤ 訓練評価 Evaluation
（実施結果評価、効果測定、分析ﾃﾞｰﾀ、等）

訓練運営の水準向上を目指すには？

⑥ フィードバック(改善)とナレッジ化
（総括資料,コース履歴カルテ、等）

2. プロセス運営 「仕組み化」の必要性

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

「さらなる訓練のレベル向上」 のために

延べ900余コースの

☆（1）企画実施プロセスは**明確か？**
・設定コース問題点分析

☆（2）実施状況は**見えているか？**
・応募状況、受講納得度
・スキル習得度

（3）訓練の**効果把握は？**
・効果把握の観点、方法
・派遣企業納得度確認

☆（4）プロセス全体の**履歴は？**
・運営プロセス記録（セミナーカルテ）

組織的、継続的
に取り組むためには
基盤整備が不十分

⇩

やはり、**仕組み化が必要**
→H15，16基本設計、
H17適用開始

⇧
H17年本格実施

３．１　取り組みの概要

企画開発プロセス

設定コースの運営プロセス

①コース実施状況を見て
「問題をキャッチし」

②企画・準備・実施プロセス
を振り返り「要因を突き止め」

③次に向け
「何を」
「どうするか」

問題点：全900余コースの

→問題が見えているか？
取り組み指針① → 「見える化」
分析ツール　実施結果散布図

→分析の視点は明確か？
取り組み指針② → 「明確化」
分析ツール　設定コース分析シート

→全員が参加できる仕組みか？
取り組み指針③ → 「仕組み化」
分析ツール　実施結果総括表

３．２　取り組み結果と効果

「結果」１．全コースに適用
（指導員の分担と事務担当者の分担も明確化し軌道に乗る）
（セミナー管理システムのデータを本格活用）

２．高度ポリテクセンターのセミナー状況が
初めて明らかになった

３．次年度計画ヒアリング資料（改善、撤退、等）として機能

「具体的効果」

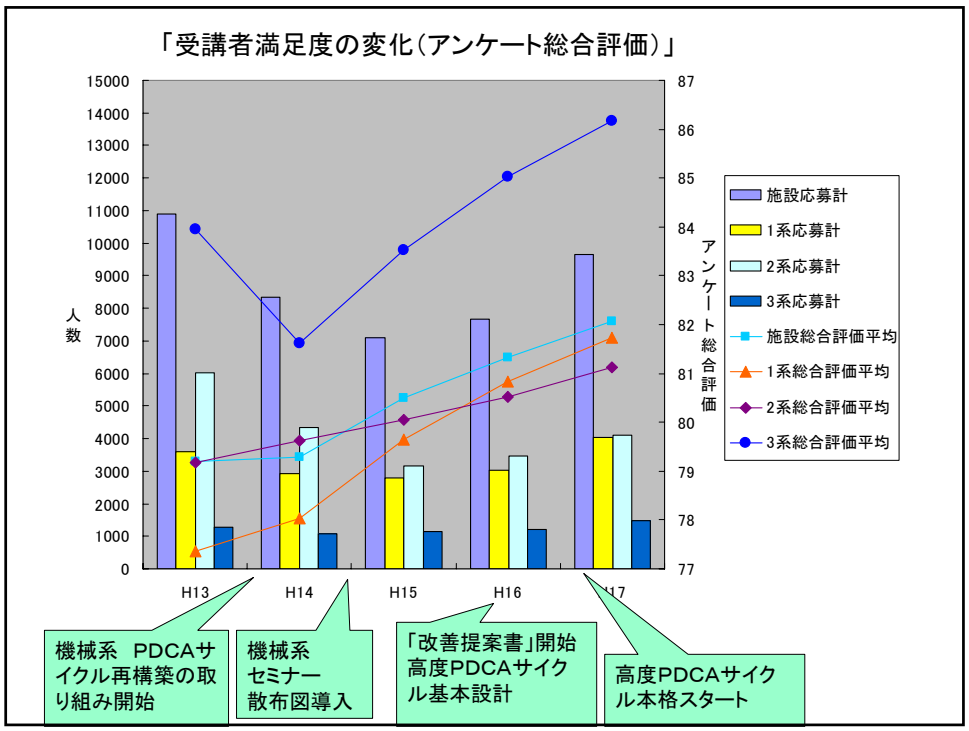
１．受講満足度が向上

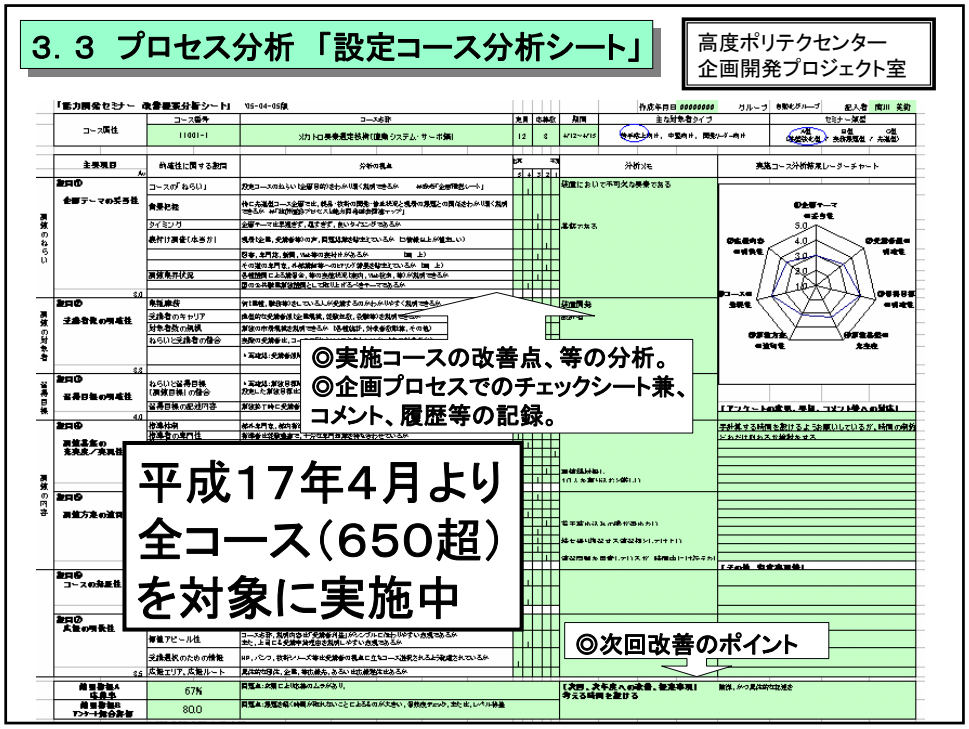
２．外的要因もあるが応募は増加中　平成17年度～

３．中止コースが減少中　平成18年度～

４．対外的説明資料が整備された　平成17年度

３．指導員、管理職に取り組み意義が浸透


「受講者満足度の変化（アンケート総合評価）」
人数
アンケート総合評価
15000
14000
13000
12000
11000
10000
9000
8000
7000
6000
5000
4000
3000
2000
1000
0
87
86
85
84
83
82
81
80
79
78
77
H13
H14
H15
H16
H17
施設応募計
1系応募計
2系応募計
3系応募計
施設総合評価平均
1系総合評価平均
2系総合評価平均
3系総合評価平均
機械系　PDCAサイクル再構築の取り組み開始
機械系セミナー散布図導入
「改善提案書」開始
高度PDCAサイクル基本設計
高度PDCAサイクル本格スタート


3．3　プロセス分析　「設定コース分析シート」
高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室
◎実施コースの改善点、等の分析。
◎企画プロセスでのチェックシート兼、コメント、履歴等の記録。
平成17年4月より
全コース（650超）
を対象に実施中
◎次回改善のポイント

３．４　プロセス分析　　「3つのフェーズ」、「7つの項目」で整理
→「設定コース分析シート」

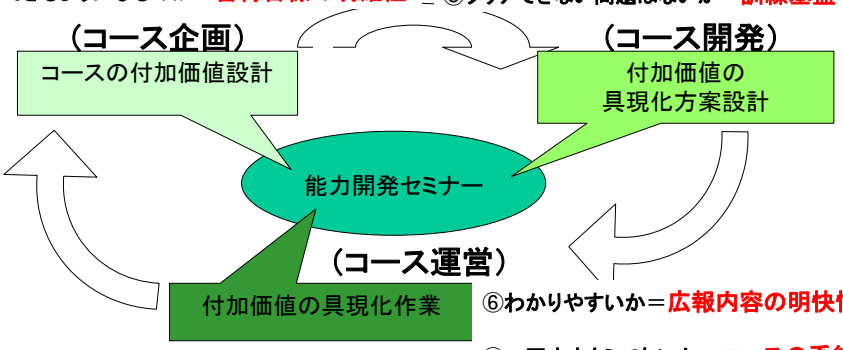
①何がうれしい（期待）のか＝**企画のねらい**

②誰から期待されているか＝**受講者像、規模**

③何ができるようになるのか＝**習得目標の明確性**

④どうやれば訓練目標に達するか＝**訓練方案**

⑤クリアできない問題はないか＝**訓練基盤**



⑥わかりやすいか＝**広報内容の明快性**

⑦一匹オオカミでないか＝**コースの系統性**

３．５　結果診断手法

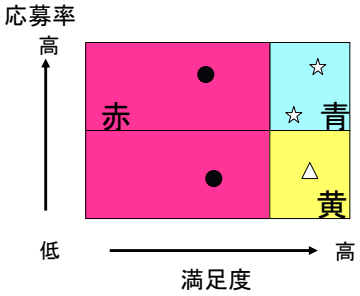
高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

実施ｺｰｽの問題は見えているか？

➡ **(1)PPM手法に基づく散布図で**
全体傾向を「見える化」

⇩

マクロ診断ツール



➡ **(2)コース別アンケート分析シートで**
個別問題を「見える化」

⇩

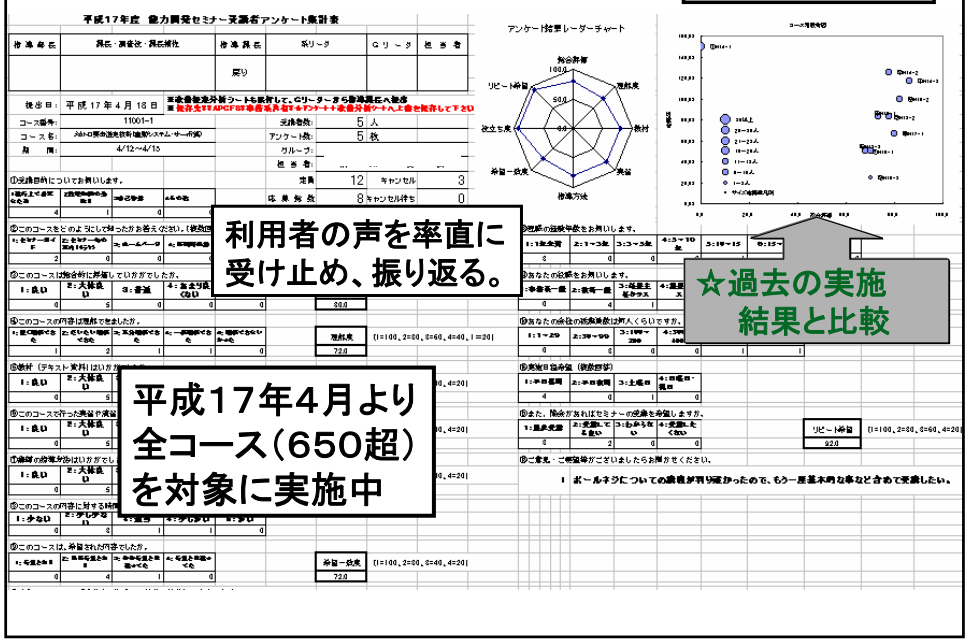
ミクロ診断ツール

参考1）新井・砂田，PPM手法を適用した訓練評価手法構築の試み，職業能力開発研究　第21巻，2003

参考2）PPM手法(ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄ・ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ)は、各種の事業に対する投資等の優先順位を決定するような経営戦略立案の為の情報を簡易に示す手法

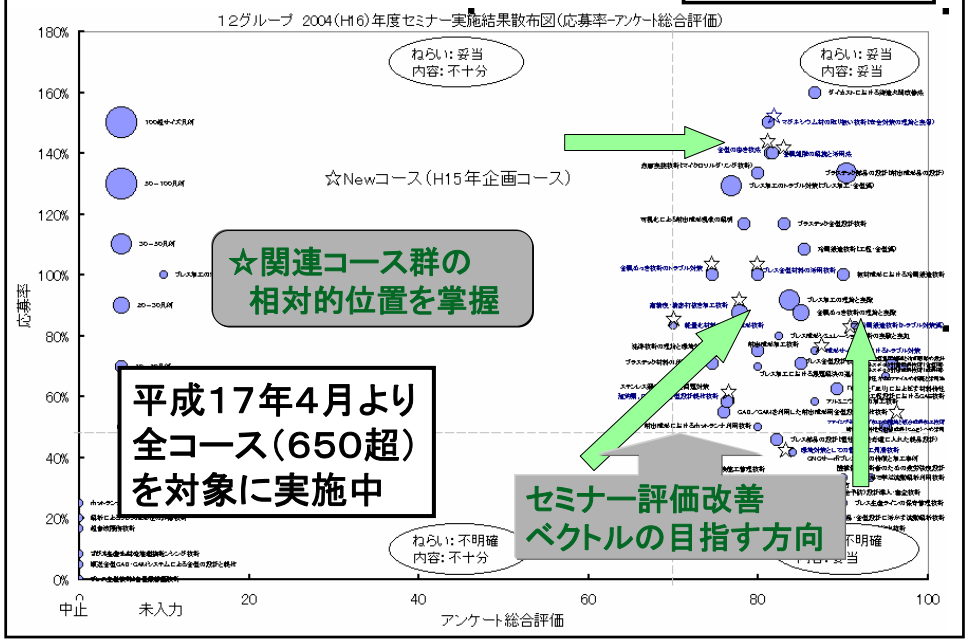
3．6　ミクロ診断　（コース別アンケート分析シート）
（レーダーチャート、コース別散布図付き）

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

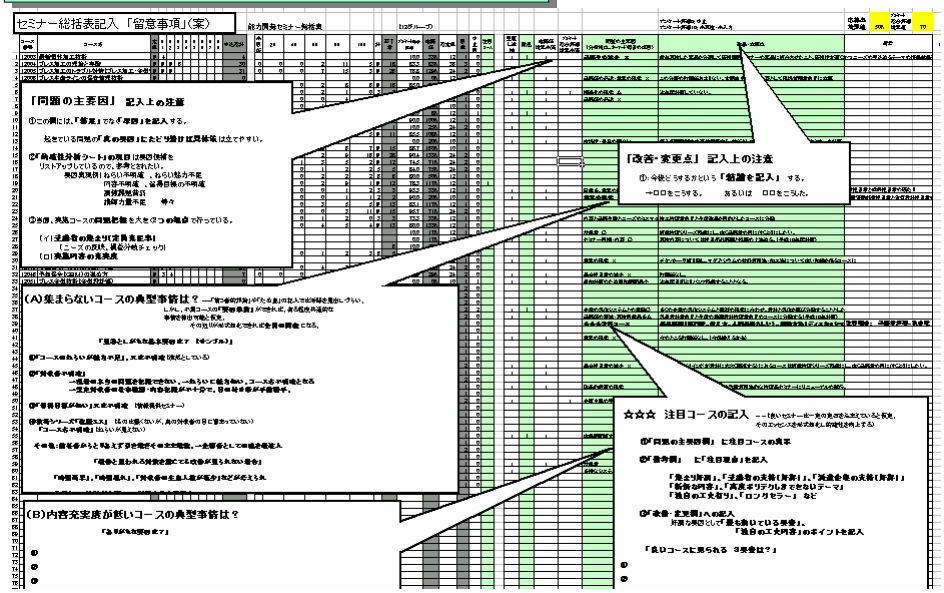


3．7　マクロ診断　（分野別　セミナー結果散布図）

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

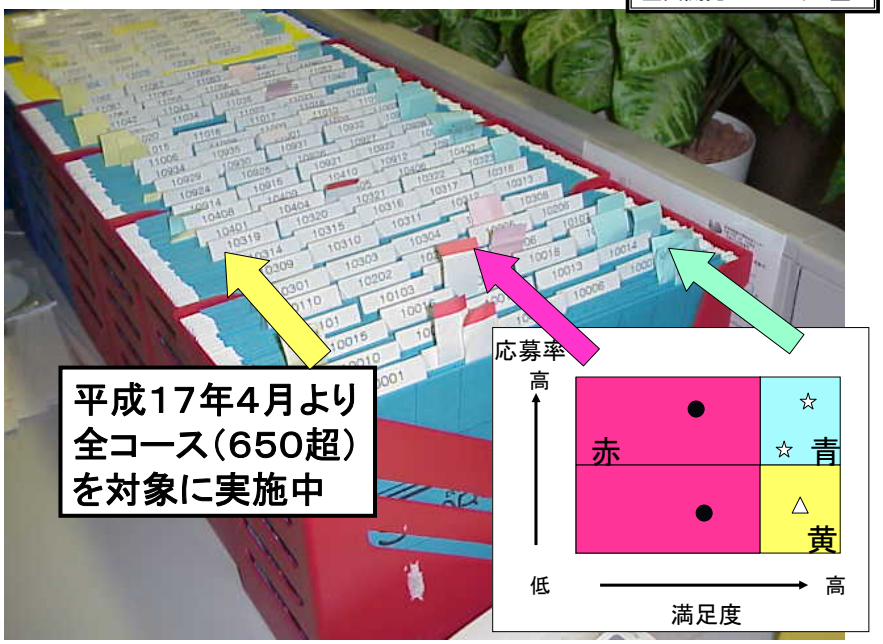


３．８．１　セミナー履歴　「セミナー総括表」



３．８．１　セミナー履歴　「セミナーカルテフォルダ」

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室



4. まとめ

知的財産件名（素案）「SKILLS-Pro」
Skills Training **Pro**cess Management method
仮称：高度ポリテクセンター訓練プロセス管理手法

H17年本格実施事項

☆	分析する **Analyze**	**企画実施プロセス分析**	・設定コース分析機能
☆	診断する **See**	**結果診断**	・実施結果分析機能（マクロ診断、ミクロ診断） ・習得スキル確認機能
	検証する **Evaluate**	**効果検証**	・受講による波及効果確認項目 ・派遣企業の満足度確認項目
☆	共有する **Share**	**プロセス履歴**	・セミナーカルテ ・フィードバック内容一覧機能

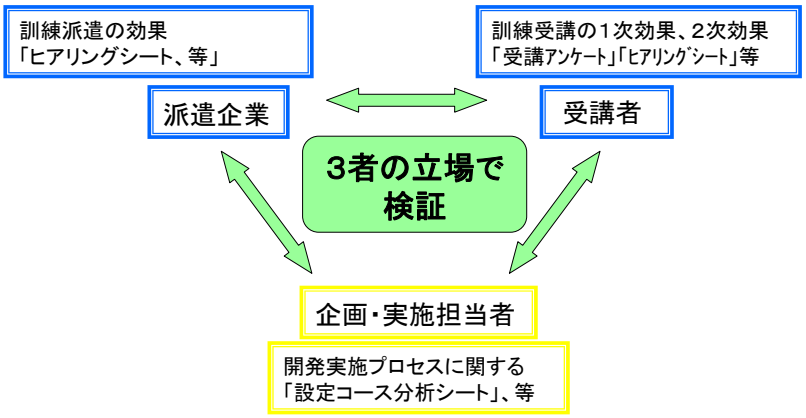
ご静聴ありがとうございました。

６．１　受講効果向上に向けて

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

受講効果把握の視点は？

（1）3者の立場で検証



６．２　「カーク・パトリックの評価の４段階」

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

職業能力開発総合大学校、能力開発研究センター
調査研究報告書No114　2005「公共能力開発施設の行う訓練効果測定」より

１次効果	レベル１　Reaction（受講満足度）	終了時ｱﾝｹｰﾄで適用
	レベル２　Learning（習得度）	ｽｷﾙｱｯﾌﾟｼｰﾄあるいは確認ﾃｽﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ、等で適用
２次効果	レベル３　Behavior（活用度）	受講者、上司等へのﾋｱﾘﾝｸﾞｼｰﾄ、等で適用
	レベル４　Results（所属組織の成果）	同上の調査等によるが、貢献度の定量化は困難

易 ↕ 難

（実施困難性）

現在、検討中

６．３　受講効果、活用度の検証法

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

定点観測（ヒアリング）のポイントは？

（２）評価の４段階を基に定点観測項目の設定

○受講満足度
○派遣満足度－１０項目
○職場へ戻っての活用度、貢献度－１２項目

受講後一定期間経過の後（およそ６～１２ヶ月後）質問紙、及びヒアリングを実施。

モニター企業、及び
オーダセミナー企業で試行中

訓練受講効果の把握結果を

今後の人材育成計画や
次回訓練の改善事項へ反映

知的財産件名（素案）「SKILLS-Pro」
Skills Training Process Management system
高度ポリテクセンター訓練プロセス管理システムの概要

高度ポリテクセンター
企画開発プロジェクト室

①企画実施プロセス
分析機能
・設定コース ⇔ **設定ｺｰｽ分析シート**

②実施結果診断
果分析機能（マクロ診断、ミクロ診断）
キル確認機能
・実施結 ⇔ **ｱﾝｹｰﾄ結果分析シート**
・習得ス ⇔ **ｽｷﾙﾁｪｯｸｼｰﾄ**

③効果検証
講による波及効果確認機能
遣企業の満足度確認機能
・受 ⇔ **受講者用ﾋｱﾘﾝｸﾞｼｰﾄ**
・派 ⇔ **担当者用ﾋｱﾘﾝｸﾞｼｰﾄ**
総括表、セミナーカルテ

④プロセス履歴
・運営

２．２「平成１６年度」下記事項を試行

対象：１６年度実施コース

①要検討コース、注目コース の抽出 （散布図）

②抽出コースの問題分析 （分析シート）

③次回にむけた改善策の明記（総括表）

３．１「平成17年度　４月から」所内定常業務として開始

①「セミナー実施後」

実施ｺｰｽ-all　**アンケート集計・分析表**（コース別散布図履歴付き）

実施ｺｰｽ-all　**改善提案分析シート**

実施ｺｰｽ-all　**セミナーカルテフォルダー**

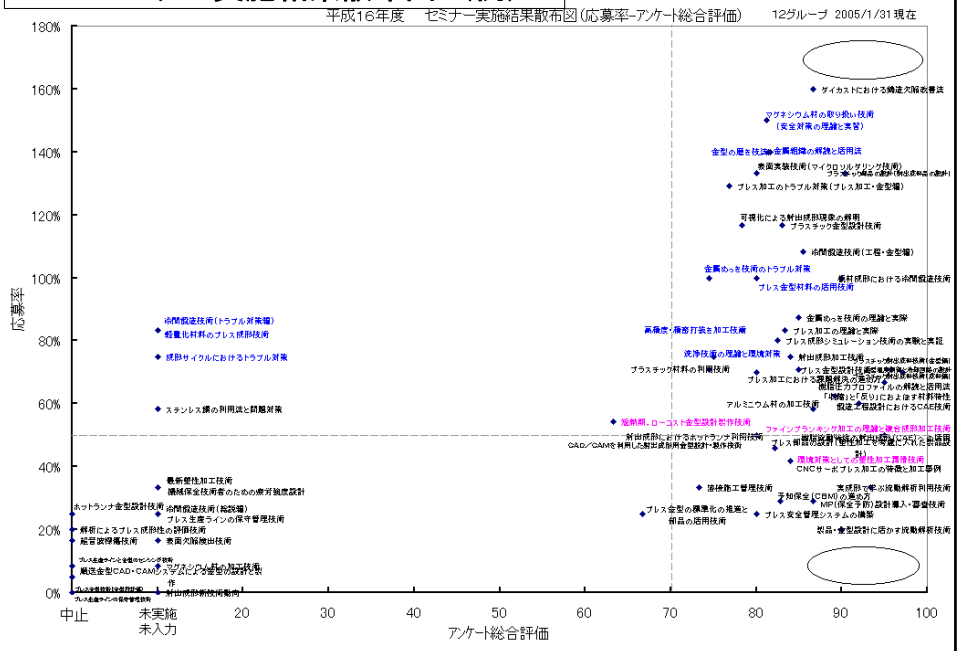
②「年間セミナー　年度末」

APC-all　「高度ポリテクセンター　セミナー総括のための基礎資料」

ｸﾞﾙｰﾌﾟ-all　**セミナー結果散布図**

ｸﾞﾙｰﾌﾟ-all　**セミナー総括表**

３．２　セミナー実施結果散布図　（例）



① 「セミナー実施結果散布図」のポイント

振るわないコース（約40%）がいつまでも
じっとしていることが問題。

→コース別散布図で
簡易診断

④ アンケート集計表を改訂

「コース別散布図の付加 」

1．はじめに

セミナーの
企画開発プロセス

アウトプット「コース設定」

設定コース群
の運営

形式知化 H15年

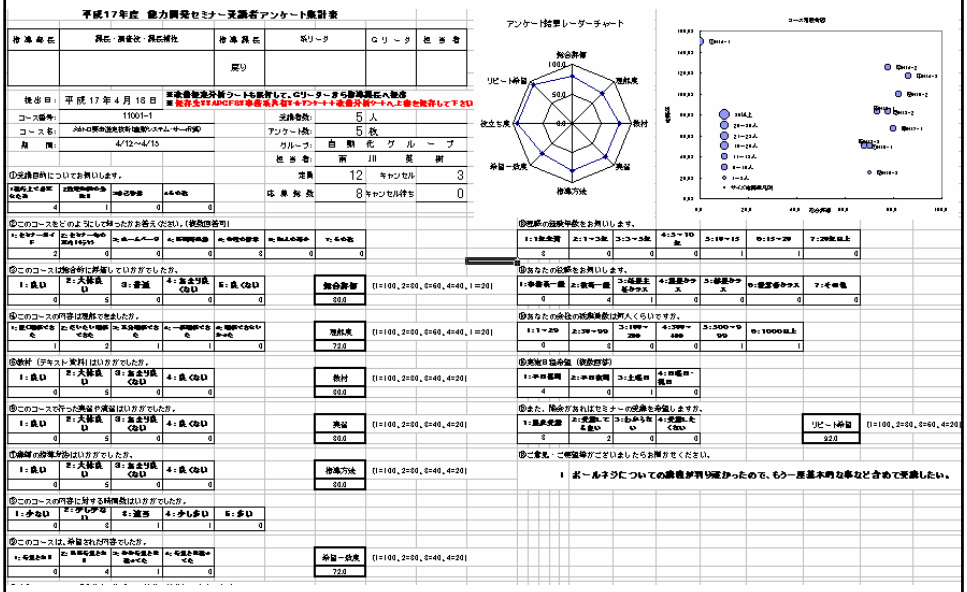
産業界「現状、動向」を読む
訓練の「種」、「芽」の育む

的確性向上 H16年

94%のお客さんが満足
→好事例の採取分析
→的確な改善

より的確に商品化し
より的確に運営・改善する

3．3　改訂版アンケート集計表（レーダーチャート、コース別散布図付き）



平成17年度　能力開発セミナー受講者アンケート集計表

作成年月日	講師・講座名・講師機関	作成担当者	系リーダ	Gリーダ	担当者
		戻り			

提出日：	平成 17 年 4 月 18 日	※本番報告分析シートも兼ねて、Gリーダーまで報告書に入れる	
コース番号：	11001-1	※改訂版PDFは事前提出分析シートと企画分析シート入上書き保存して下さい	
コース名：	JAVA言語の基礎技術（簡潔システム サーバ作成）	受講者数：	5 人
期　間：	4/12～4/15	アンケート数：	5 枚
		グループ：	自動化グループ
		担当者：	新川　長谷
		定員	12　キャンセル 3
		申込人数	8　キャンセル待ち 0

①受講動機についてお伺いします。

1:能力上の必要性を感じた	2:技術情報の収集	3:仕事上	4:その他
4	1	0	0

②このコースをどのように知ったかお答え ください。（複数回答可）

1：セミナーガイド	2：セミナーなどの案内パンフ	3：ホームページ	4：新聞雑誌等	5：知人の紹介	7：その他
2	0	0	0	3	0	0

③このコースは総合的に評価していかがでしたか。

1：良い	2：大体良い	3：普通	4：あまり良くない	5：良くない	総合評価	(1=100, 2=80, 3=60, 4=40, 1=20)
0	5	0	0	0	80.0	

④このコースの内容は理解できましたか。

1：理解できた	2：だいたい理解できた	3：大体理解できた	4：一部理解できた	5：理解できないかった	理解度	(1=100, 2=80, 3=60, 4=40, 1=20)
1	2	1	1	0	72.0	

⑤教材（テキスト・資料）はいかがでしたか。

1：良い	2：大体良い	3：あまり良くない	4：良くない	教材	(1=100, 2=80, 3=40, 4=20)
0	5	0	0	80.0	

⑥このコースで行った実習や演習はいかがでしたか。

1：良い	2：大体良い	3：あまり良くない	4：良くない	実習	(1=100, 2=80, 3=40, 4=20)
0	5	0	0	80.0	

⑦講師の指導方法はいかがでしたか。

1：良い	2：大体良い	3：あまり良くない	4：良くない	指導方法	(1=100, 2=80, 3=40, 4=20)
0	5	0	0	80.0	

⑧このコースの内容に対する時間配分はいかがでしたか。

1：少ない	2：ちょうどよい	3：多い	4：少しまだ多い	5：多い
0	3	1	1	0

⑨このコースは、希望された内容でしたか。

1：希望どおりだった	2：希望通りだった	3：希望通りだったとも言えない	4：希望通りだったとは言えない	5：希望通りでなかった	希望一致度	(1=100, 2=80, 3=40, 4=20)
0	4	1	0		72.0	

アンケート結果レーダーチャート

コース別散布図

⑩貴社の従業員数をお伺いします。

1：1名全員	2：1～3名	3：3～5名	4：5～10名	5：10～15	6：15～20	7：20名以上
0	0	0	0	1	1	0

⑪あなたの役職をお伺いします。

1：事務系一般	2：技術一般	3：経理主任クラス	4：課長クラス	5：部長クラス	6：役員クラス	7：その他
0	4	1	0	0	0	0

⑫あなたの会社の総資産は何人くらいですか。

1：1～29	2：30～99	3：100～299	4：300～499	5：500～999	6：1000以上
0	0	0	0	1	1

⑬実施日指希望（曜日別）

1：平日昼間	2：平日夜間	3：土曜日	4：日曜日・祝日
4	0	1	0

⑭また、時間があればセミナーの延長を希望しますか。

1：是非延長	2：延長してもよい	3：わからない	4：延長したくない
0	2	0	0

リピート希望	(1=100, 2=80, 3=60, 4=20)
92.0	

⑮ご意見・ご感想がございましたらお願いがいたします。

1　ポールネジについての講義が判りにくかったので、もう一度基本的な事など含めて実施したい。

②　設定コース分析シートのポイント

「まず自分の目」 VS 「分析シートでのチェック」

○「客観的」に企画内容を見ることできる

○ポイントは、その場で次への対応を「決める」こと

○結論は「総括表」で共有

３．７　取り組み要点まとめ

①「実施結果散布図」のポイント

振るわないコース（約40％）がいつまでも
じっとしていることが問題。　　→コース別散布図で
簡易診断

②　設定コース分析シートのポイント

「まず自分の目」 VS 「分析シートでのチェック」
○「客観的」に企画内容を見つめられる
○次への対応を「決める」
○結論は「総括表」へ

③　運営上の課題

「問題を明確にし　フィードバックをかけること」
→「問題の有無チェック」 と「対応の意見交換」
「指導員の仕事とそうでないものを整理」
「徹底すること」 対象は全コース
（問題のあるコースは推定40％以下）

④　アンケート集計表を改訂

「コース別散布図の付加　」

４．高度ポリテクセンターの課題　①
「セミナーの事業価値をどう説明するか？」

３者の立場で実施コース分析

受講者の立場	→	セミナー受講の１次効果 「アンケート集計表」、「修得度」	取り組み開始
企画・実施担当者 （高度ポリテク指導員）	→	企画者サイドの分析 「設定コース分析シート」	取り組み開始
受講者派遣企業	→	セミナー受講１次効果、２次効果 「好事例の採取がポイント」	検討課題 （モニター企業）

↓

高度ポリテクセンターの「事業価値検証」と「価値向上」へ

4. 今後の課題 ②
セミナー展開についてのビジョン構築作業
「ノウハウは？」「どう説明するか？」

我々は、セミナー展開ビジョンの検討中
どこを見て、何を考えているのか？

セミナーの
企画開発プロセス

形式知化

産業界「現状、動向」を読む
訓練の「種」、「芽」の育む

アウトプット「コース設定」

設定コース群
の運営

的確性向上

より的確に商品化し
より的確に運営・改善する

5. おわりに

能力開発セミナーコース設定の **的確性向上** 取り組み**その心は**

「職員　全員の意志」で

「職業訓練向上の好循環サイクル」

に「乗り込み」

高度ポリテクセンターは

日本「最強」の「職業訓練」プロ集団を目指す